

東川小等建築検討委、町内小学校統廃合検討委スタート

東川小学校の老朽化に伴う改築及び町内小学校の統廃合問題の検討を行う「東川小学校等建設検討委員会」及び東川町内小学校統廃合検討委員会」が7月25日、発足しました。



役場大会議室で開いた第1回委員会

在震度4程度までしか耐えられず、全国ワースト200の193番目に入っている。震度7に絶えられる補強工事が必要。また開基120年に向けて、更にその100年先を見越した教育施設のあり方を考えたい」との

基本的考え方を示しました。さらに「子育て支援の一環として児童保育、老人センターをどう位置づけるか」「学校に子どもが少ないとスポーツができない、という声がある。一方で、児童数が少ない学校で子どもたちが伸び伸びと活動している、という姿もある。統合することがいいのか、今の姿がいいのか、併せて十分に検討していきたい」とお願いしました。

この日は小学校等建設検討委の会長に奥山富雄さん（学識経験）、副会長に平川和彦さん（東川小PTA代表）、町内小学校統廃合検討委の会長に林次男さん（キトウシ自治振興会）、副会長に西田孝志さん（第一回）、津谷俊弘さん（第三回）を選びました。今後年4、5回の委員会を開催する予定です。

町では来年12月ごろをめどに、東川小の改築、町内小学校の統廃合に関して両検討委の答申を受け、平成22年度の町予算で東川小学校改築基本計画を立てる予定です。

委員会は、東川小学校等建設検討委員会委員が22人、東川町内小学校統廃合検討委員会委員が19人。各地区のPTA代表、各学校長・教頭、自治振興会役員、老人クラブ連合会役員、一般公募委員らが加わっています。

検討開始に先立って、松岡市郎町長は「小学校校舎の耐震強度は、現

キトウシ森林公園で「ほたるの光つたー!」

8月18日、東川町ほたるの会（滝本宣博会長）がキトウシ森林公園のキャンプ場でほたるの観察会を開きました。

午後7時半、すっかり暗くなった公園に町民約40人が集まりました。キャンプ中の家族連れも加わり、林間キャンプ場内の小川やその周辺の草むらに目を凝らしました。「いた、いた!」。淡い青色とや

や赤っぽい光が草むらの中で点滅していました。そっと手をかざして手のひらの上に。ほたるは手の上で逃げずに光を点滅させ、参加者は思わず興奮。

この夜観察できたのは10尾程度。同会では7月中旬に約200尾を周辺に放流しており、その成果もあつたようです。会では、今回観察できた成虫が無事越冬し、光の乱舞をし



てくれることを夢見ています。

幼児センター「おもむきの家」で国公立幼稚園教研開く

7月28日、東川町幼児センターで第46回北海道国公立幼稚園教育研究大会上川大会が開かれました。

東川町幼児センター、東神楽幼稚園、愛別町幼児センター、当麻幼稚園の4会場に別れて約400人が参加しました。東川町幼児センターの分科会場は「生きる力をはぐくむ」を大会テーマに、全道各地から幼稚園教員ら約130人が参加しました。



前年大会まとめの「豊かな人間性の基礎となる『生きる力』をはぐくむ」に沿って、「友達とのかかわり」をテーマに、幼児センターの実践報告発

表がありました。

「だれとでも遊べる子、助け合える子になってくれることを心がけ、保育者は相手の思いに気づく環境構成や援助の仕方を心がけています」

「したくても、してはいけないこと、したくなくともしてはいけないことを理解できることを自律ととらえ、繰り返し経験させることで、思いやりと自立が整合性を持つていることを意識しています」などと発表しました。

大会は、来年度からスタート予定の新たな幼稚園教育要領の基調となる「生きる力の育成」方針に沿って、研究発表が行われ交流を深めました。

空高く初秋の球技大会で歓声

8月17日、町民運動公園とB&G海洋センター体育館で第36回東川町地域親睦球技大会が開かれました。地区対抗のチームを結成して、10人制ソフトボールと4人制ミニバレーボールに約150人が出場しまし

た。ともに男女混成のチーム編成。ソフトボールは女性2人以上、ミニバレーボールは女性4人チームの中に45歳以上の男性が1人まで交代出場できます。カラリと青空が広がった1日、会



好評開催、大雪山自然観察講座で野菜スープ作り

8月6日、旭岳温泉街周辺の旭岳青少年野営場、自然探索路で今年第1回の大雪山自然観察講座が開かれました。



町、環境省東川自然保護官事務所、大雪山の自然を記録する会の主催。6歳から72歳まで18人が参加しました。中には夏休みで首都圏から参加した小学生の姿も。

愛別町在住の山岳ガイド、池田しのぶさんを講師に、午前中は自然探勝路のクマゲラコースを歩いて探索。町内で採れたトウモロコシ、ズッキーニ、ピーマン、サヤエンドウ、なす、パプリカなど無農薬野菜と大雪

山旭岳源水の水を材料にして、夏野菜のスープ作りに挑戦しました。

調味料は塩だけですが、新鮮野菜の甘みとおいしさたっぷりのスープの出来上がり。持参のおにぎりで「おいしい」とみんな舌鼓。

午後からはビジターセンターで「森の図鑑」作りです。真っ白な図鑑のページを完成させるのが課題。森の中の植物や花、木の実、小鳥や虫など、観察成果を書き入れて自分だけの観察図鑑が出来上がりました。

本年度は来年3月まで4回開催の予定。次回は10月4日、秋の紅葉めぐりです。